

COMPADRE

dual voice compressor & boost

USER MANUAL

strymon[®]

もくじ

コントロール&コネクション

フロントパネル 3

リアパネル 6

パワーアップモード

バイパスモード 7

FAV/MIDI ジャックオプション 8

外部コントロール

ボリュームペダル 9

FAV スイッチセットアップ&比較モード 10

MultiSwitch Plus セットアップ 11

MIDI 機能

MIDI 使用法 13

MIDI プリセットの保存 17

MIDI スペシフィケーション 19

ファクトリーリセット 20

主な特徴 21

スペシフィケーション 22

付録

パワーアップモード クイックリファレンス 24

信号経路のダイアグラム 27

サンプルセッティング 29

保証について 30

コントロール&コネクション - フロントパネル

ブースト EQ

クリーン&ダーティーブーストに働くEQシェープを選択します。

Treble: ミッド-ハイ周波数をブーストして、ローエンドをタイトに仕上げます。

mid: ミッド周波数をブーストして、ファットなトーンに仕上げます。

Flat: フルレンジ (全帯域) ブースト



COMPタイプ

コンプレッションのタイプを選びます。

Studio (スタジオ) : ラックマウントスタイルの (ビンテージタイプの) スムーズなコンプレッサーです。

Squeeze (スクイーズ) : クラシックなギターペダルタイプのハードコンプレッションです。

コントロール&コネクション - フロントパネル [cont.]

ブースト

ブースト回路がONの時にブースト量を調整します。フラット (flat) クリーンブースト時で〜14dBのブーストが可能です。

コンプレッション

時計回りに従ってスレッシュホールドが下がり、コンプレッションが増加します。フル反時計回りの最小設定ではコンプレッションは効きません。



ドライ

コンプレッションが効いていない信号 (ドライ信号) の出力レベルをコントロールします。

レベル

コンプレッサー動作時の出力レベルを-6dB〜+6dBの範囲で調整します。

コントロール&コネクション - フロントパネル [cont.]



ブースト

ブースト回路のon/offスイッチです。
(レッド LED = ON)

コンプ

VCA回路のコンプレッサーをon/offします。
(レッド LED = ON)

ノート: BOOSTとCOMPは、それぞれ独自動作します。BOOST、COMPの両方がOFFになると、リレー回路のトゥルーバイパス、又はバッファードバイパスのいずれかでバイパスされます。

コントロール&コネクション - リアパネル

入力

ハインピーダンス/超低ノイズ、
クラスA FETプリアンプのモノ入
力です。

出力

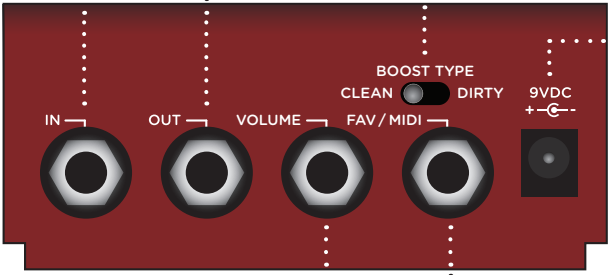
ローインピーダンス、モノ
出力です。

ブーストタイプ

クリーンブーストとソフトクリッピング (TSタイプ)
のブースト回路が選択できます。

CLEAN: クリッピングの無いクリーンなブース
トが得られます。

DIRTY: オーバードライブペダルのソフトなク
リッピングサウンドが得られます。



9VDC

9VDC (センターマイナス)
150mA以上の電源を使用して
ください。

ボリューム

TRSエクスペッションペダルを接続し、バ
ッファードボリュームペダルとして使用できま
す。

FAV / MIDI

strymon MiniSwitchを接続して、FAV (お
気に入り) セッティングをリコールできます。
(strymon MultiSwitch Plus 又はMIDIコン
トローラーでMIDI機能も使えます。詳細は11
ページをご覧ください。)

パワーアップモード - バイパスモード

本機をバッファードバイパス モードに設定できます。信号が複数のペダルを経由し、全ケーブル長が長くなる場合に高域周波数の劣化を防ぎます。

- 1 COMPフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両フットスイッチのLEDが点滅したらスイッチを離します。



- 2 図のようにコンプレッションノブで下記のオプションを選択します。COMP LEDが各バイパス設定をカラー表示します。

True Bypass (トゥルーバイパス) : グリーン

Auto Bypass (オートバイパス) : アンバー (デフォルト設定)

ボリュームペダルがジャックに接続されるとバッファードバイパス。その接続がされていない時はトゥルーバイパスに自動設定されます。

Buffered Bypass (バッファードバイパス) : レッド

- 3 COMP又はBOOSTいずれかのフットスイッチを押し、バイパスモードを保存します。

ノート: 上記のような変更を実行しない限り、パワーアップモード設定は保存されます。

ノート: オートとバッファードバイパスは、ペダルがバイパス時でもボリュームペダルジャックは動作します。

パワーアップモード - FAV/MIDIジャックオプション

本機の外部コントロール用にFAV/MIDIジャックのモードを選択します。

- 1 **COMP**フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両フットスイッチのLEDが点滅したらスイッチを離します。



- 2 図のようにブーストノブで下記のFAV/MIDIジャック機能を選択します。BOOST LEDが設定をカラー表示します。

FAV Mode (フェイバレットモード) - レッド (デフォルト設定)

MiniSwitch又は他のラッチスイッチ (TRSケーブル使用) でフェイバレット設定のセーブ/リコールが可能になります。

(詳しくは10ページをご覧ください。)

MIDI Mode (MIDIモード) - ブルー

Strymon MIDI EXPケーブルを使用すると、MIDI PC(300xプリセット)とCCによるパラメーター操作が可能です。

(ノート: 1/4フォーンのMIDI信号の分配器を使用できます。詳しくは13ページをご覧ください。)

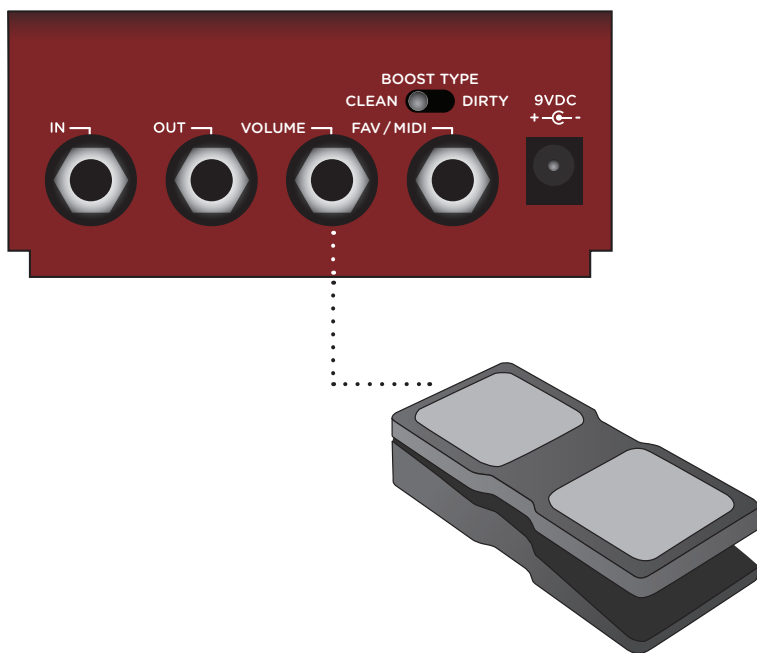
- 3 COMP、BOOSTいずれかのフットスイッチを押し、バイパスモード設定を完了します。

ノート: 上記のような変更を実行しない限り、パワーアップモード設定は保存されます。

外部コントロール - ボリュームペダル

TRSエクスプレッションペダルを使用して、出力ボリュームがコントロールできます。

- 1 エクスプレッションペダルをTRSケーブルでVOLUMEジャックに接続します。



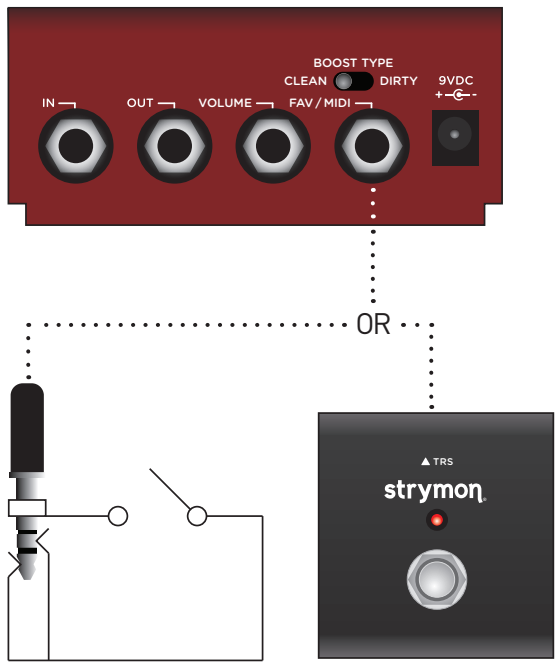
ノート: 本機がバッファードバイパス (Buffered Bypass) 又はオートバイパス (Auto Bypass) の時は、BOOSTとCOMPの両方がバイパス時でもボリュームペダルは機能します。

(詳しくは[7ページ](#)をご覧ください。) 25kΩ以上のエクスプレッションペダルを使用することをお勧めします。

外部コントロール - FAVスイッチセットアップ&比較モード

Strymon MiniSwitch又は他のラッチスイッチ (TRSケーブル使用) でフェイバレット設定のセーブ/リコールが可能になります。

- 1 FAV/MIDIジャックをFAVモードに設定します。(詳しくは8ページをご覧ください。)
- 2 フットスイッチをTRSケーブルで接続します。
- 3 お好みのサウンドを設定します。
- 4 お気に入り (FAV: フェイバレット) セッティングの保存は、BOOSTフットスイッチを2秒長押しします。



図のように、外部フットスイッチでFAVとコントロール面のセッティング (サウンド) を切り替えることができます。

比較モード

FAVが選択され、ノブやスイッチを変更するとBOOST LEDが点滅します。ノブやスイッチのポジションがFAVセーブされたセッティングに合致すると、BOOST LEDはグリーンに点灯します。

ノート: コントロール面のセッティングと同様、リアパネルのBOOST TYPEスイッチとバイパス設定もFAVセッティングにセーブされます。

ノート: MIDI使用時のセーブ方法は異なります。(詳しくは17ページをご覧ください。)

ノート: FAVセッティングは、MIDIプログラムチェンジ (PC) の「0」でセーブされます。

外部コントロール - MultiSwitch Plusのセットアップ

MultiSwitch Plusによる3xプリセットのリモートアクセスについて説明します。

- 1 BOOSTスイッチを長押ししながら電源を投入します。両LEDの点滅が止まるまでフットスイッチをホールドします。
- 2 BOOSTノブを反時計回りいっぱいに戻し、MIDI CH1にセットします。BOOST LEDは **グリーン** に点灯します。
- 3 COMPRESSIONノブを反時計回りいっぱいに戻し、MIDIアウトモードをONにします。COMP LEDは **グリーン** に点灯します。
- 4 BOOST又はCOMPフットスイッチを押し、MIDIチャンネルとMIDIアウト設定から出ます。
- 5 FAV/MIDIとMIDIモードについての詳しい説明は、13ページをご覧ください。

- 6 FAV/MIDIの接続には、TRSケーブルを使用します。



- 7 MultiSwitch Plusプリセットモードの選択は、ケーブル接続の際にAフットスイッチを押しながら接続します。



外部コントロール – MultiSwitch Plus セットアップ (cont.)

MultiSwitch plusを使ったプリセットのセレクト&セーブ



ノート: A、B、Cのフットスイッチは、MIDIプログラムの1、2、3にそれぞれ対応します。

- 1 LEDが点灯していないフットスイッチを押して、プリセットをリコールします。
- 2 点灯しているスイッチを押すと本機はバイパスされます。

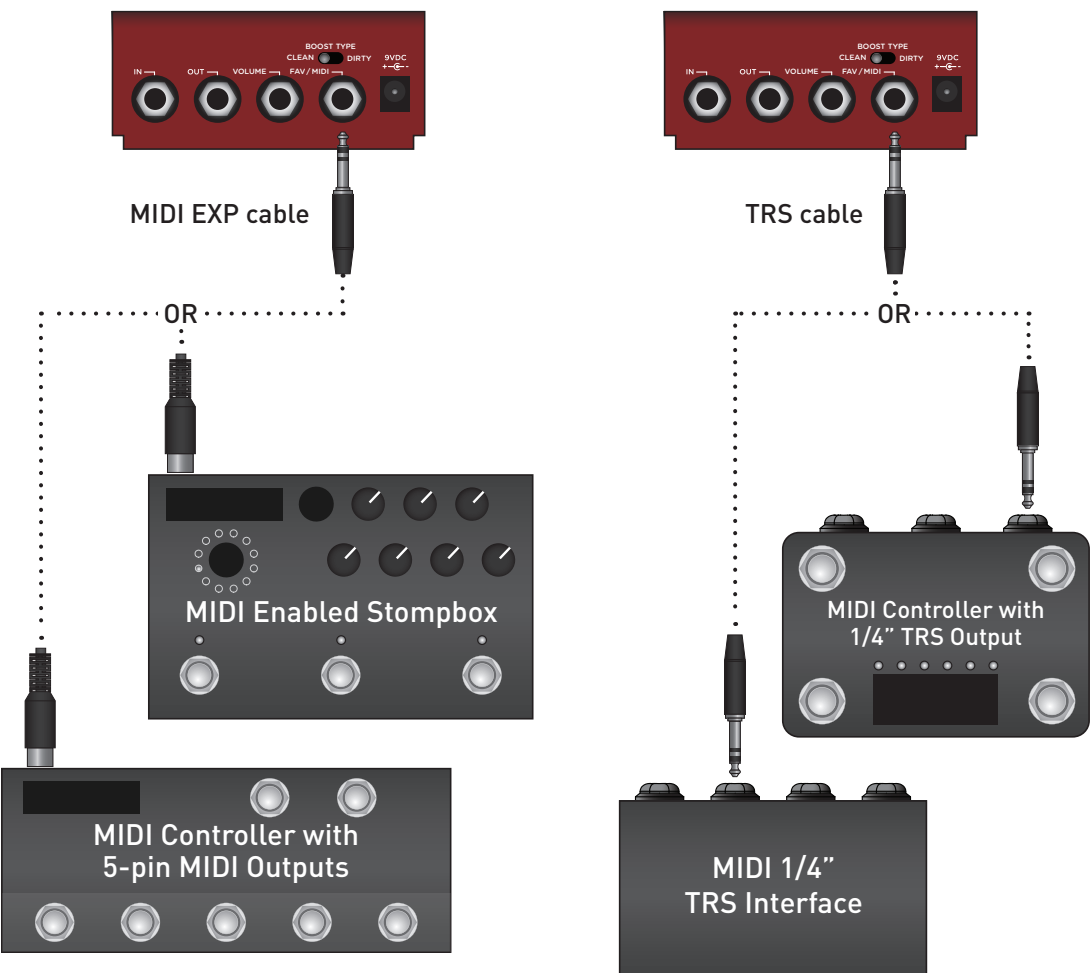
本機にプリセットをMultiSwitch Plusを使って、本機にプリセットをセーブする

- 1 セーブしたいプリセットを設定します。
- 2 BOOST LED が**ブルー**に点滅するまで、BOOSTスイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch PlusのA、B、Cいずれかを押して、スイッチロケーションを選びます。

MIDI機能 – MIDI使用の準備

MIDIコントローラー又はFAV/MIDIジャックに接続するインターフェースで、本機の300プリセットへMIDIアクセスが可能です。図のように1/4フォーンを備えたMIDIコントローラー/インターフェース、又はStrymon MIDI EXPケーブルを使用します。MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDIアウトモードはOFFにします。

strymon.net/support/compadreに、適応機器を掲載しています。



MIDI機能 - MIDI使用法 (cont.)

ステップ1 - Set FAV/MIDIジャックをMIDIモードにセットする。

- 1 COMPフットスイッチを長押ししながら、電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 BOOST LEDがブルーに点灯するまで、BOOSTノブを時計回りに回します。
- 3 BOOST又はCOMPフットスイッチを押して、FAV/MIDIジャックモードをセーブします。

ノート: Strymon MIDI EXPケーブル経由でデータを送る場合は、MIDIアウトモードはOFFにしてください。(詳しくは16ページをご覧ください。)

MIDI機能 - MIDI使用法 (cont.)

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定: MIDIデータを送受信するMIDIチャンネルを決定します。MIDI CH 4-16の使用はMIDIデバイスのみで可能です。

- 1 BOOSTフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 BOOSTを回し、MIDIチャンネルを決めます。BOOST LEDが下記のように表示します。

Channel 1: グリーン (デフォルト設定)

Channel 2: アンバー

Channel 3: レッド

Channel 4 -16: ブルー (1/4" MIDI接続)

LEDがブルーに点灯時は、MIDIプログラムチェンジ (PC) メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、MIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

- 3 COMP又はBOOSTフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ終了します。

MIDI機能 - MIDI使用法 (cont.)

ステップ3 - MIDIアウトモード

本機がMIDIデータを出力するか否かを設定します。

- 1 BOOSTフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

TIP: MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、FAVスイッチがオフの時にCC#27で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、COMPフットスイッチがon (点灯します) になります。



- 2 COMPRESSIONノブを回して、本機から出力するMIDIデータを決めます。COMP LEDが、ステータスを一時的にフラッシュ表示します。

ON: グリーン 本機のノブやスイッチからのMIDIメッセージを送る場合に選択します。(MultiSwitch Plusを使用する場合はONに設定します。)

Through: アンバー 本機が受けたMIDIメッセージをそのまま出力します。

OFF: レッド 本機からMIDIメッセージは出力されません。(デフォルト設定)

- 3 BOOST又はCOMPスイッチを押して、MIDIアウトプット設定から出ます。

MIDI機能 - MIDIプリセットの保存 (cont.)

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- 1 セーブモード（保存モード）へは、BOOSTフットスイッチを長押しします。LED がブルーに点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表します。



- 2 接続されたMIDIデバイスからMIDI PCメッセージが送られます。BOOST LEDが一時的にフラッシュして、メッセージを受けて保存したことを表示します。

⋮
OR
⋮

プリセットロケーションにプリセットが送られたら、BOOSTフットスイッチを押して保存します。

⋮
OR
⋮

COMPフットスイッチを押して、保存をキャンセルします。

MIDI機能 - MIDIスペシフィケーション

.....

MIDIプログラムチェンジ

本機には、0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128 (0-127)のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けま
す。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank(バンク)「0」が選ばれるため、プリセットは初めの127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1又は2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bank チェンジメッセージ(MIDI CC #0とMIDI Bank#)を送ります。

バンク0&パッチ127 (MIDIメッセージ) を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング (操作面の実セッティング) に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI機能 - MIDIスペシフィケーション

MIDI CCナンバー

PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
Bank Select	0	0-2	
Compression Type	11	1-2	(1=studio, 2=squeeze)
Compression Level	12	0-127	
Compression Off/On	13	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)
Compression	14	0-127	
Dry	15	0-127	
Boost EQ	17	1-3	(1=flat, 2=treble, 3=mid)
Boost Type	18	1-2	(1=clean, 2=dirty)
Boost Amount	19	0-127	
Boost Off/On	20	0, 127	(0=bypass, 1-127=on)

パッチ変更

- 0** FAVパッチから出る場合
- 1** MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2** MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3** MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127** マニュアルモード (ノブコントロール)

ノート: 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター (1-127) = onで実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。設定した機能やプリセットがファクトリーデフォルトに変更されます。

- 1 COMPフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらスイッチを離します。



- 2 DRYノブを2回、0から100%まで回します。BOOST LEDは色を変え、レッドの点滅まで変化します。

Turn 1: アンバー

Turn 2: レッド

Turn 3: アンバー

Turn 4: 両LEDがレッドに点滅します。

ファクトリー出荷時のセッティング

FAV/MIDIジャック: FAVORITE (FAV) モード

バイパスモード: オートバイパス (Auto Bypass)

MIDIチャンネル: 1

MIDIアウトモード: Off

主な特徴

- アナログVCA (Voltage Controlled Amplifier) コンプレッサー
- 異なる2つの音声オプション: スムーズなスタジオコンプレッションとハードなペダルタイプコンプレッション
- 3 x EQタイプを備えたクリーンとダーティー (歪み) ブースト
- ダーティーブーストは、ブーストがオンになるとオーバードライブサウンド (歪み) が得られます。
- アタックのトランジェントを保てるよう、コンプレスされた信号にDRYノブでドライ信号がブレンドできます。
- VolumeジャックにつないだTRSエクスプレッションペダルで、VCA出力をボリュームコントロール (ボリュームペダル) として使用できます。
- ツールバイパスとバッファードバイパスが選択できます。
- MiniSwitch でFAVプリセットがリモートコントロールできます。
- MultiSwitch Plusで3 x プリセットがリモートコントロールできます。
- MIDI機能をフルサポートしています。300プリセット&リアルタイムパラメーター・コントロール (1/4フォーンTRS、Strymon MIDI EXPケーブル、MIDI > TRSインターフェース) が可能です。
- ハイインピーダンス、超ローノイズ、ディスクリートClass A JFETプリアンプ搭載
- ローインピーダンスモノ出力
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
最大入力レベル	+10 dBu
コンプレッサー S/N	109 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス (リレースイッチング)、超ローノイズ・バ ッファードスイッチング
サイズ	11.4 cm deep x 10.2 cm wide x 4.4 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、150mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧を入
力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1

パワーアップモードのクイックリファレンス

パワーアップモードのクイックリファレンス

パワーアップ設定のパラメーターは、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。ファクトリーリセットでは、デフォルト設定に戻ります。

COMPフットスイッチを長押ししながら、電源を入れます。両LEDが点滅したら、フットスイッチを離してください。

COMP又はBOOSTフットスイッチを押して、このアウトプットモードの設定から出ます。

バイパスモード

(図を用いた説明は7ページ
をご覧ください。)

COMPRESSIONノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

トゥルーバイパス: **グリーン**

オートバイパス: **アンバー**

バッファードバイパス: **レッド**

FAV/MIDIジャックモード

(図を用いた説明は14ページ
をご覧ください。)

BOOSTノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

フェイバリットモード: **レッド**

デジタルモード: **ブルー**

ファクトリーリセット

(図を用いた説明は20ページ
をご覧ください。)

2回DRYノブを0~100%に回して、リセットします。

パワーアップモードのMIDIクイックリファレンス

下記にパラメーターへのアクセス方法とその機能を説明します。パワーアップセッティングは、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。ファクトリーリセットでは、デフォルト設定に戻ります。

BOOSTフットスイッチを長押しして、両LEDが点滅してパワーアップモードに入ったことを確認します。フットスイッチを離します。

BOOST又はCOMPスイッチを押し、変更を保存してモードから出ます。

MIDI チャンネル

(図を用いた説明は15ページをご覧ください。)

BOOSTノブを回すとBOOST LEDがチャンネルステータスを表示します。

- 1: グリーン
- 2: アンバー
- 3: レッド
- 4-16: ブルー

MIDI アウトプットモード

(図を用いた説明は16ページをご覧ください。)

COMPRESSIONノブを回すとON LEDがステータスを表示します。

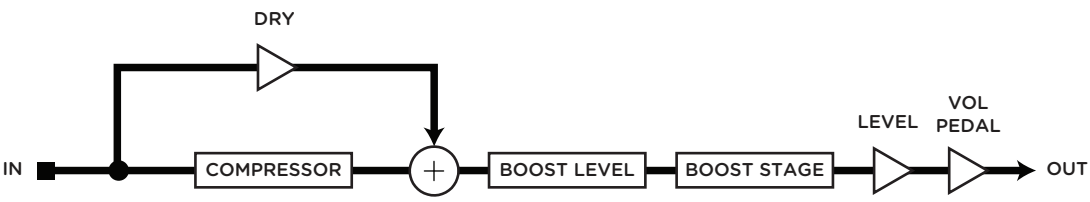
- On: GREEN
- Through: AMBER
- Off: RED

Appendix 2

信号の流れ

信号の流れ

.....



ノート:

本機のオーディオプロセッシングは100%アナログです。デジタルコントロール機能を備えており、この機能により300プリセットのセーブやリコール、アナログパラメーターのMIDIのフルコントロールが可能です。

COMPがバイパスされているときは、コンプレッサー回路は完全に信号経路から切り離されます。

LEVELコントロールノブは、コンプレッサーが動作状態にあるときだけ働きます。このLEVELは、図のようにBOOSTの後にあります。よって、DIRTYブーストセッティングで深いオーバードライブがかかりボリュームが大幅に上がっても、適切なセッティングが可能です。

Appendix 3

サンプルセッティング

サンプルセッティング



MIDI Program Change 0



MIDI Program Change 1



MIDI Program Change 2



MIDI Program Change 3



MIDI Program Change 4



MIDI Program Change 5

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印必須)を提示の上、購入された販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品はシリアルナンバーが登録されています。本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告:安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり→出たり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、→また火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告:次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

●湿度の非常に高い場所 ●砂やほこりが多い場所 ●台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所 ●空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所
■取り扱いについて 乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いはおこなわないで→行わないで下さい。記載外の使用方で本機を使用されますと故障が発生する場合→故障する場合があります。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行ってください。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

株式会社 HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。